

開催報告

日時： 10月19日(日)13:00～15:00

場所： 芝浦工業大学大宮キャンパス 2201 教室

第20回全国まちづくり会議（主催・認定特定非営利活動法人日本都市計画家協会）にて、分科会「産学官民の連携で進める地域防災減災コミュニケーションとまちづくり」を開催しました。

分科会では、冒頭、埼玉大学・齊藤正人教授より、埼玉大学地域レジリエント社会研究コンソーシアムについての説明を行い、産官学民が顔を合わせ、困りごとや技術、ノウハウの共有を進めていくことの重要性が話されました。続いて、全国で「逃げ地図」を軸とした地域連携を進めてきた株式会社損害保険ジャパン・埼玉中央支店長・田名田曜行氏から、地域共創の一つとしての防災まちづくりの取組、および同主任の日高有佳子さんから今年9月に行った埼玉大学での逃げ地図ワークショップについての報告がありました。また、逃げ地図研究会会長で明治大学教授の山本俊哉先生から、「逃げ地図」を使ったまちづくりの様々な先行事例についてのご紹介をいただきました。

その後、埼玉大学・ゴイト・チャンドラー准教授から、さいたま市と連携した外国人住民の防災意識についての調査及び外国人コミュニティに向けた情報発信や防災教育の必要性についてお話がありました。

次いで、行政の立場で、さいたま市経済局商工観光部地域活性化推進室室長の有山信之さんより、さいたま市「みんなのアプリ」を事例とした地域の情報のハブづくりとそれを用いた地域活性化に向けた取組についてお話があり、埼玉県県民生活部共助社会づくり課主幹の田原弥生さんからは地域の共助の担い手づくりの取組や現在行っているHP等を使った情報発信等についてお話をいただきました。

後半は、参加者同士の交流・意見交換の時間を経た後、全体討議として、前半の登壇者の方を交え、全体でのディスカッションの時間を作りました。

全体討議の時間には、防災は全ての市民に関わることであり、「逃げ地図」をはじめとした多様な住民のコミュニケーションを図る仕掛けづくりを考えながら、この先も産学官民が連携し、取り組みを進めていくことを確認しました。

第20回全国まちづくり会議 <https://sites.google.com/view/zenmachi2025/program?authuser=0>

